

2020年4月13日

小規模橋梁補修の AOS 工法 半年で施工実績が倍増し 100 橋梁を突破

前年比263%アップ 全国過半数以上の26都道府県で施工実績

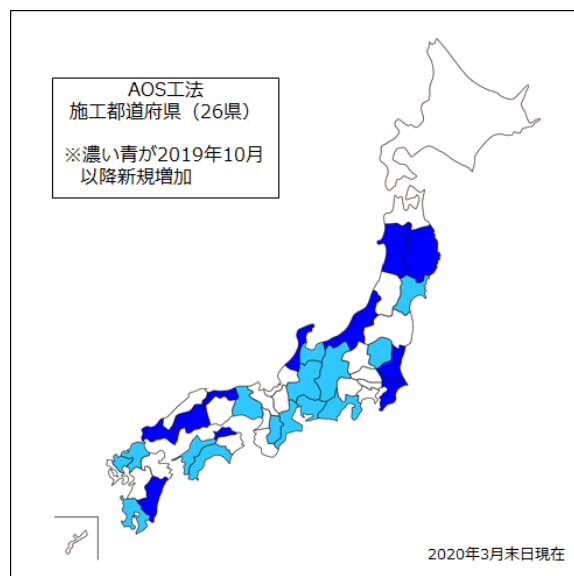
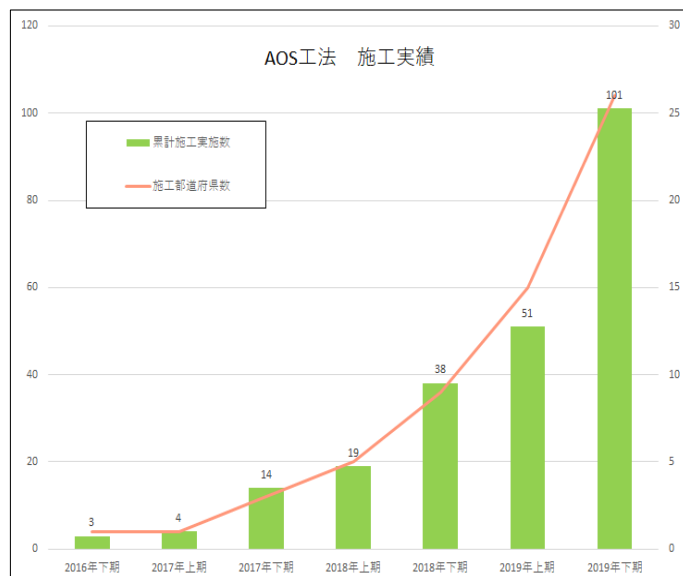
リノブリッジ株式会社

小規模インフラメンテナンス事業を展開するリノブリッジ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：伊藤 敦、以下「当社」）は、20メートル以下の小規模橋梁を対象とした「AOS工法（NETIS登録番号：NETIS登録番号CB-170021-A）^{*1*2}」の累計施工実施件数が半年で倍増し、101橋梁となりましたことをご報告いたします。

「AOS工法」は、これまで個別に構成されていた橋面防水と桁端部の防水を一体的な止水層で構成する革新的な止水構造をもつ工法です。従来工法と同等水準の品質を保持しながら、15%以上のコスト低減、品質の安定化、工期短縮等の多数のメリットがあります。

その革新性と品質を評価され、2019年9月30日に工法発表からわずか2年7ヶ月で累計施工実施件数は50橋を超えましたが、その後の半年の間にさらに件数の増加の勢いは増し続け、2020年3月31日出荷分までで101橋梁を突破しました。

2019年度の施工橋梁数は63橋梁となり、2018年度の24橋梁から前年比263%の伸びとなりました。



2020年3月31日出荷分までの都道府県別施工実績においても、26県にまで増加し、AOS工法の革新性は全国規模で高く評価されていることが示されています。

小規模橋梁をいかに補修していくかが全国規模で喫緊の課題となっていることの証拠でもあり、引き続き多くの橋梁でAOS工法を採用いただけるように、工法の充実をはかってまいります。

2014年7月より、橋長2メートル以上の橋梁および全てのトンネル（以下「橋梁等」）については、5年に1回の点検実施が義務化されました。橋梁等の多くは1960～1980年代に建設されており、建設後50年超の橋梁等が増加することで、国内のインフラメンテナンス市場は拡大しています。

国土交通省は、2019年8月に「平成30年度道路メンテナンス年報」の中で5年間実施された定期点検の1巡目の結果を発表しました。年報によると次回点検（5年以内）までに補修を行うことが求められる事後補修対象橋梁（点検結果Ⅲ・Ⅳ）が69,542橋あり、うち20メートル以下の橋梁は46,738橋梁と約67%を占めています。^{*3}

令和2年度予算では道路の橋梁等の老朽化対策にかかる個別補助制度（道路メンテナンス事業補助制度）が2,223億円の規模で設置されるなど、小規模橋梁の補修は本格化が見込まれます。

当社では、引続き「AOS工法」の普及に注力するとともに、小規模インフラ補修に適した工法・材料の開発や取扱い製品の拡充を続けることで、小規模インフラメンテナンス市場の需要に応えるべく、販売拡大に努めてまいります。

- * 1：伸縮装置及び床版防水の一体化工法／ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法
小規模橋梁補修時において、同じアスファルト乳剤系の伸縮材と防水材を使用することで、埋設型伸縮装置設置工と塗膜系床版防水工を一体化した工法。特許取得済（特許第6095842号）
- * 2：新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として、国土交通省により整備された新技術情報提供システム
- * 3：平成30年度道路メンテナンス年報（1巡目）の公表資料に基づき当社集計

リノブリッジ株式会社について

リノブリッジ株式会社は、小規模インフラメンテナンス市場に求められている社会的ニーズに応えるため、小規模インフラの維持管理・メンテナンスに特化した新技術の開発とソリューションを提供する事業を展開しています。

名称：リノブリッジ株式会社
本社：東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビルディング 5階
代表取締役社長：伊藤 敦
ウェブサイト：<https://www.renobridge.jp>

一般の方からのお問い合わせ先

お問い合わせ先

TEL:0120-088-293 ※問い合わせ受付時間 10:00～16:00（土・日・祝日除く）

メール：info@renobridge.jp

* 記載されている会社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

報道関係者からのお問い合わせ先

リノブリッジ株式会社／担当 永田善裕

TEL：03-6279-4275 FAX：03-6279-4236

Email：nagata@renobridge.jp